



# 信太の森ニュース

No. 20

2015年3月31日



2015年2月14日：惣ヶ池湿地保全：住友化学労組青年部からも体験参加

今年、信太山丘陵でウグイスの初音を聞いたのは2月21日でした。それから3週間後の昨日（3月16日）フモトスマレが開花をはじめました。信太山丘陵はもう春です。

強い風の吹く日が多かったせいでしょうか、それとも年のせいでしょうか、今シーズンの冬は昨年よりも寒いと感じる日が多かったような気がします。

この寒い中、信太山丘陵では新しい命の誕生を観察することができます。その生きものはニホンアカガエル。2月上旬のいちばん寒い時期に冬眠を一時中断して産卵に出てくるのです。惣ヶ池湿地の水辺では、ソフトボール大の卵

塊をたくさん見ることができます。ゼリー状の一つの卵塊には、200個から300個の卵が入っています。産卵から一週間以内の卵塊であれば、片手で持ち上げても崩れ落ちることはありません。

厳しい寒さに今年の産卵は遅れるのではと思っていたのですが、そんな思いとは反対に1月22日とこれまで最も早い産卵でした。

それにやや一月遅れで産卵に出てくるのがカスミサンショウウオです。市有地内の池では、今年は4個の卵囊を確認。これも例年より早く、卵囊の状態から2月中旬前半に産卵が始まったようで既に孵化しています。惣ヶ池湿地の池ではメダカの学校も始まりました。

NPO法人 信太の森FANクラブ

事務局：〒594-0013 大阪府和泉市鶴山台3丁目4番1-202

電話 0725-45-7357

E-mail [tamahati@amber.plala.or.jp](mailto:tamahati@amber.plala.or.jp)

## ワークショップのその後

信太山丘陵市有地活用と保全に係る「基本構想」が12月に決まったことは、前号でお知らせしましたが、その後の動きについては、作業部会の会議が2月16日に開催され、27年度の大まかな年間作業スケジュールが決められたほか、現地の作業については、1月12日（祝）に湿地と草地予定の新たな場所で笹刈りを、3月21日（土）には「ツツジの丘」の笹刈りが実施されました。FANクラブ会員は、1月に5名、3月の作業には10名が参加しました。

また、次年度からの新たな組織「公園協議会」の体制づくりを協議するワークショップ本会議が3月26日に開催され、「和泉市信太山丘陵市有地公園協議会設置要綱」が示されました。

これにより「公園協議会」事務局は「都市公園課」に置かれ、自然環境保全活動に係る事務は「環境保全課」に置かれることとなります。協議会を構成する「会員」については、これまでのワークショップ会員を「特別会員」とし、「一般会員」「団体会員」「市職員」からなり、「企画運営会議」は、特別会員、団体会員については、本人が出席を希望し、会長が承諾した者、一般会員は、運営会議参加者の推薦により会長の承諾を得た者となっています。

4月より「自然公園」づくりが本格的に始まります。保全活動等みなさんにはご協力いただくこととなりますが、よろしくお願ひします。

### 惣ヶ池湿地保全活動に活気が

惣ヶ池湿地の保全活動は、昨年4月から公益財団法人大阪みどりのトラスト協会との共同管理・作業となりました。保全作業には、毎月ほぼ二桁台の参加者がいます。10月には格納庫も設置され、惣ヶ池湿地の保全作

業も弾みがつき、整備が進んでいます。

11月には畦道沿いのヒサカキなど常緑小木の伐切。2月には定例日外で、森林ボランティア活動を行っている方にも手伝って貰い湿地内の枯れ松の大木3本をチェーンソーなどを使って切り倒しました。その結果、湿地内がすっきりした感じになりました。

枯れ松伐切の副産物として、玉切りにしたものを格納庫横に椅子として設置しました。この椅子に座って作業後に飲むコーヒーは美味しいものです。



玉切りの椅子を設置しました

1月からは、池の中に入ってスイレンの堀取り作業を行っています。

嬉しいことに、2月は住友化学の労働組合青年部からCSR活動を検討しているとして若者3名の体験参加がありました。初体験の保全活動でしたが、池の中に入ってスイレンの堀取り作業や草刈をやって貰いました。

作業後の感想を聞くと「体を動かして気持ちよかった」とのこと。今後の活動参加が期待できそうです。既にトラスト協会の情報によると4月も参加を希望しているとのこと。彼らのホームグラウンドになってくれたらと期待しています。

3月は惣ヶ池湿地の定例活動日とは別に、外周柵の補修作業をはじめました。この外周柵については、惣ヶ池湿地ができてから殆ど補修がされていません。杭の根元が腐食していて倒壊寸前になっています。以前から気になっていたのですが、FANクラブの観察会



やっかいなスイレンの堀り取作業

に参加された方から補強用の杭を50本ほど提供していただきました。その杭と山の谷の竹林で間伐されたモウソウチクを運び込み、順次外周柵を補修していくことにしています。

## 「チャリティーネット森が好き！」に参加

2月6日、7日、あべのハルカス7階ホールで開催された「チャリティーネット森が好き！」に登録団体として参加しました。

この「チャリティーネット森が好き！」は平成24年度の大阪府の「新しい公共支援事業」（正式名称：森林保全活動活性化のための寄付ネットワーク構築事業）として、NPO法人日本森林ボランティア協会や大阪自然環境保全協会等4団体を中心となって行っているもので、今回は個人や企業がより気軽に里



チャリティーネット森が好き！会場

山保全・森づくり活動に寄付できる仕組み作りと社会的に認知された運動に拡大しようと

いうもくろみで開催されたものです。

FANクラブは、ポスター掲示とどんぐりアクセサリーの販売を行いました。事前のどんぐりアクセサリー作りに4名が、当日の会場での説明には会員6名が参加しました。

## 「連絡会」日本自然保護大賞に入選

昨秋より肺がんのために闘病を続けておられる花田代表から「信太や丘陵の草地及び湿地の保護活動」が日本自然保護大賞に入選した旨の下記メールが届きました。ご本人の承諾を得てここに掲載し、お知らせします。

大変ご無沙汰いたしています。闘病についてはご心配とご迷惑をおかけしています。体調は一進一退です。一日も早く現場に復帰できるよう願っていますが、なかなか一筋縄ではいきません。

今日うれしいお知らせを送ります。昨日、日本自然保護協会より「信太山に里山自然公園を求める連絡会」が「平成26年度日本自然保護大賞」の入選に選定されたという表彰状が贈られてきました。日本自然保護憲章の創立40周年を記念して「日本自然保護大賞」が創設され、公募されました。大阪自然環境保全協会の夏原由博先生（名大教授）が「連絡会」の活動について推薦・応募してくれていました。応募112件で、大賞に7件が選ばれました。残念ながら大賞は逃がしましたが、43件の入選に選ばれました。応募いただいた夏原先生には感謝です。私たちの数年に及ぶ取組みが全国に紹介されることとなります。和泉市の自然環境に対する取組みを紹介し、市の評価を高める役割となるのではないかと思います。私どもの頑張りを認めていただいたものと共に喜びましょう。

事務局（連絡会） 花田茂義

信太山丘陵の自然保護活動が入選したことを共に喜ぶとともに、花田代表におかれましては闘病に専念され、一日も早く復帰できますことをみんなで祈念したいと思います。

2015年度総会のお知らせ  
5月10日(日)10:00~12:00

# 信太山丘陵の歴史探訪

3月8日の定例室内例会は、信太山丘陵の歴史学習会とし、会員の北口氏を講師に惣ヶ池公園から菩提寺までを案内していただきました。その内容を参加者の木村さんに寄稿していただきました。

—中世から近世にかけての信太山の景観を創造する—

一、中世における信太山（和泉郡信太郷）の開発はどのように行われたか

（小栗（熊野）街道の北側（舞のあたり）にはもっと時代の古い条里制の跡が残るので、その南側、丘陵地帯の開発が今回のテーマ）

水田用のため池は今では四つとも鶴山台団地の下になって消えているが（下(北)から、菩提池、治郎池、南之道池、太之坊池）、開発の順序からいって低い下の方から順次造成された。これは承久の乱（1221年）の功により関東から地頭として来た成田氏が行ったもの。阿闍梨長賢道善にもとづく。

二、古い墓地と菩提寺

死者は墓地に葬られますが、埋葬の前に『餓鬼草紙』に描かれた風葬があったようです。墓地は「三昧」と呼ばれ、古三昧という小字名（聖神社の東側に四ヶ所ほど）がその墓地を示しています。また古三昧谷も二ヶ所あります。

ミノ（美野）村墓地は信太七ヶ村の共同墓地で、江戸時代以前のもので、郷墓と呼ばれています。1561（永禄四年）から1568（永禄11年）の上代共同墓地の地蔵石仏や板碑（太陽○印と三日月は宇宙の象徴）、如来石仏が残っている。当時はため池や墓地を人々のお金を集めて（カンパ、勧進、弁慶が背負うのはカンパ帳）作った。

菩提寺には宝篋印塔が13もあり、これは坊さんの墓で1700年代頃のものである（詳細年号は判明済み）。

三、聖神社（信太明神）の奥の院はどこにあり、どうなっていたか？

米田家に遺された聖神社の境内図には奥の院に釈迦堂（『和泉名所図会』では禅入堂）、堂守寺（律宗）、龍御前、（稲荷明神、春日明神、加茂明神の三社）が描かれています。文殊裏という小字二ヶ所の間に釈迦堂が建っていたと考えると、そこに奥の院もあったと考えられます。信太明神というのは神仏習合した（聖神社、万松院、釈迦堂、堂守寺）ものを指しています。律宗西大寺の叡尊が活躍したらしい。

四、その他

枚岡神社参道という石碑が菩提寺に行く途中にあります。

備考

以前、北口先生から聖神社の社領地が80万坪で、結塚石が二ヶ所、東に日本工機前、南に伏屋から西に行く道に残っているとお聞きしました。

今回の探訪で一番私が驚いたのはテーマとは離れますが、ふるさと館の東の鏡池（古名は御手洗池）の土手にある組立式の箱型石棺でした。紀ノ川の青い片岩、和泉砂岩、花崗岩が使われています。昨年、下関考古資料館近くで見たものと似たもので、時代は違うでしょうが、皆さん、百聞一見にしかずです。お勧めします。（歩けおろ爺）



歴史学習会には10名が参加：菩提寺にて